

房総のむらにおける感染防止対策の現状と課題

1. 現状

【入館に際して】

- ・マスクを着用し、咳エチケットを心がけてください。
- ・入館時の手指消毒、検温、入館確認票の記入にご協力ください。
- ・入館の手続きは代表者1名でお願いします。

【見学・体験に際して】

- ・対人距離の確保をお願いします。
- ・見学施設では、マスクの着用をお願いします。
- ・体験の際にはマスクの着用、手指の消毒が必要です。
- ・展示物や展示ケースにはお手を触れないようお願いいたします。
- ・見学や体験の際、場所によっては利用が一時的に集中する場合があります。その際は時間帯を変えてご利用下さい。

【感染拡大防止のための当館の主な対策】

- ・館内各所に消毒液の設置
- ・館内各所の定期的な清掃・消毒・換気
- ・職員の健康管理の徹底
- ・職員のマスク（フェイスシールド）着用と定期的な手洗いや消毒の実施
- ・館内各所にビニールカーテンやアクリル板による間仕切りの設置
- ・館内各所での入場人数の制限及び一方通行の設定
- ・館内各所でのテーブルや椅子の一部利用制限
- ・見学や体験人数の制限
- ・間隔保持と誘導サインの設置
- ・館内放送や掲示での注意喚起

2. 課題

- ・この状態がいつまで続くのか
- ・今の対策で十分なのか
- ・職員の感染に対する不安をどう払拭するか
- ・職員のモチベーションをどう維持するのか
- ・消毒液やマスクは安定的に入手できるのか
- ・収入減にどう対応するのか
- ・検温や入館確認票の記入案内などの負担が大きい

○大きなイベントを開催して集客するという事は当面できない

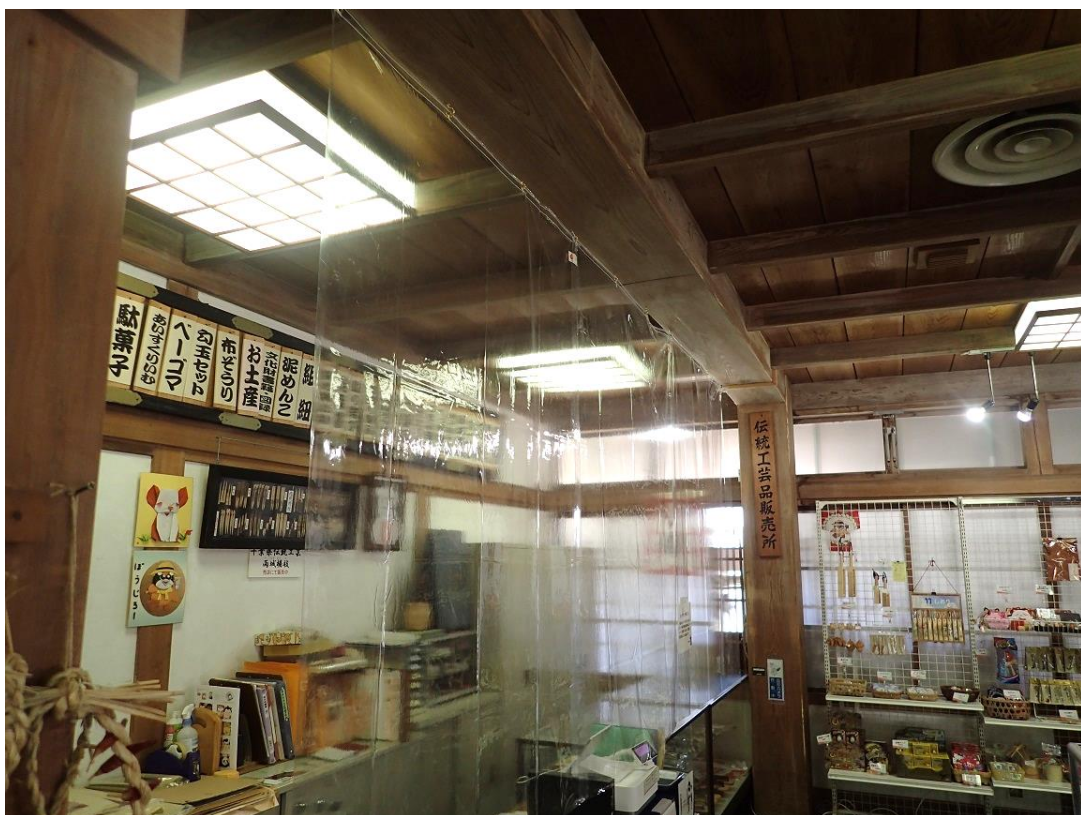
○広報のあり方についても検討が必要

○本格的な体験の再開には至っていない

◎With コロナ時代の体験博物館について模索中



テントを設置しての消毒・検温など



ビニールカーテンの設置